

さがみはら
地球温暖化対策協議会

会員紹介

合計 124 (2019年11月29日現在)
個人 44名 事業者 44社 団体 36団体
会員紹介は掲載希望の会員から順次掲載します。

東急建設株式会社技術研究所



東急建設株式会社技術研究所は、2016年8月からオフィス棟のZEB改修に取り組み、主な改修工事は2018年3月に修了しました。この改修では、建物の断熱・遮熱の強化、高効率設備機器などの省エネ技術や、太陽エネルギー(発電、集熱)、地中熱などの再生可能エネルギー設備の導入に加え、自立型水素エネルギー供給システムにより、太陽光発電電力由来のカーボンフリーな水素利用など先進的な取り組みを行っています。このたび、これらの取組について「令和元年度かながわ地球環境賞(かながわスマートエネルギー計画部門)」を受賞いたしました。実際の建物を運用していく中でさらなる改善・改良を加え、広く公開することによって、温暖化対策に貢献していく考えです。
<https://www.tokyu-cnst.co.jp/technology/lab/index.html>

株式会社ジャスパー



社名ジャスパーの由来は太陽・情熱・前向き
ジャスパー=自分自身だと本気で思える志を持った社員と共にソーラーシェアリングに本気で取り組んでいます。シェアリング施工実績は早くも8Mkw(約80反、24,000坪)を超えました。2022年夏に相模原初・相模原1のソーラーシェアリングでのブルーベリー摘み取り園をOPENします。(緑区青野原) きっかけは実際に農家さんの生の声を聞いたからです。日本の農業者平均年齢が65歳を超え、10年後、20年後には農業を行う人がいなくなってしまうのです。その背景には収入が安定せず、少ない。そして重労働。誰が率先してやるのでしょうか?そんな現状を打破できるのは…ソーラーシェアリングだと考えています。私たち太陽光発電事業者が農業にも真剣に取り組む、特に六次産業化に繋がれば…是非、皆さんの力をお貸しください。

株式会社成川電興



昭和46年、この地相模原に電気工事専門に事業を展開にまいりました。工事の内容としては、電灯、コンセント、照明設備工事の他、受変電設備工事、非常発電設備工事、電話設備工事、放送設備工事、テレビ共聴設備工事、インターホン設備工事、自動火災報知設備工事、ナースコール設備工事、監視カメラ設備工事、車路管制設備工事、太陽光発電設備工事と、幅広い分野の工事があります。事業内容としては、一般住宅、店舗、工場、公共工事等を施工しています。近年では少子高齢化社会が叫ばれる中、当社では保育園、幼稚園、高齢者施設(老人ホーム、グループホーム)等の受注も多く、施設内に太陽光発電、LED照明を既設建物にも積極的に提案しております。当社も令和3年には創立50周年を迎えます。これからも、相模原の発展と地球温暖化対策に貢献していきます。
<http://www.nari-denko.com/>

出前講座実施中

地球温暖化対策の講座やイベントを開催しませんか

さがみはら地球温暖化対策協議会では地球温暖化対策についての講座やイベントを実施しています。

ぜひ公民館や子どもセンターなどの事業にご活用ください。無料で講師の派遣をいたします。

子ども向け、大人向け、親子向け、またそれらをいくつか組み合わせた講座も可能です。お気軽に当協議会事務局にお問い合わせください。



会員募集中!!

さがみはら地球温暖化対策協議会に入会して、温暖化対策と一緒に取り組みませんか。当協議会の目的に賛同する個人・事業者・団体はどなたでも入会していただけます。また、市外の方の入会も可能です。

会費 1口 1,000円/年
個人会員1口以上 事業者・団体会員2口以上

さがみはら地球温暖化対策協議会

〒252-0236 相模原市中央区富士見1-3-41
相模原市立環境情報センター内
TEL・FAX: 042-753-9550
Eメール: info@s-ontaiyou.jp
HPアドレス: <http://www.s-ontaiyou.jp/>



未来のため、いま変えよう。
この会報は環境に配慮した紙・インクを使用しています。

さがぼー通信

第12号
発行日
令和2年2月

さがみはら地球温暖化対策協議会は、個人・事業者・団体・市が連携・協力しながら、日常生活に起因する温室効果ガスの排出削減などのために必要な対策の協議や活動を実施し、地域の地球温暖化対策を推進していきます。

さがみはら
地球温暖化対策協議会

〒252-0236
相模原市中央区富士見1-3-41
相模原市立環境情報センター内
電話 / ファクス 042-753-9550
Eメール info@s-ontaiyou.jp
●<http://www.s-ontaiyou.jp/>

市内各地で
さがぼーくん
活躍中!!



さがみ湖湖上祭 花火大会
8.1(木)
神奈川県立相模湖公園



さがみおのハロウィン
フェスティバル2019 10.27(日)
相模大野ペDESTリアンデッキ



「COOL CHOICE」ラッピングバス
神奈川県中央交通株式会社路線バス

「さがぼーくんのうた」

～ストップおんだんかマーチ～
ストップおんだんか ストップおんだんか
さがぼーくんがやってきた

みんなのちきゅうをまもるため
ポクラになにができるかな
でんきをこまめにけしたりね
ちっちゃなことからはじめよう

ストップおんだんか
ストップおんだんか
さがぼーくんがやってきた



QRコードで
うたが聴けます

さがぼー隊長と行く COOL CHOICE キャラバン

平成30年度に引き続き、本協議会は相模原市との共催により、イメージキャラクター「さがぼーくん」を隊長とする「COOL CHOICEキャラバン隊」を結成し、来場者を対象に家庭の省エネ対策や「COOL CHOICE」への賛同を呼びかける普及啓発活動を行いました。



支えあおう! さがみはらフェスタ2019
11.16(土)・17(日)
相模総合補給廠一部返還地



温暖化による 気象災害に備えるために!!



環境講座

気象から考える防災の心得!
with ソーラーオルゴール作りを開催しました
橋本公民館 2020.1/25日

地球温暖化の進行に伴い、台風など熱帯低気圧の強さが増す可能性が指摘されています。強い熱帯低気圧が増えると、激しい風雨による被害が増加することが予測されます。

そのような中で地球温暖化との関係が指摘されている異常気象について学び、温暖化対策として重要な省エネ、気象災害への対処方法を知ることが目的として「【環境講座】気象から考える防災の心得! withソーラーオルゴール作り」を開催しました。

当日は子育て中の若い世代を中心に約50名の方が参加され、保育士さんに保育してもらえるキッズスペースのかたわら、大人の方を中心に、昨年の台風第15号、第19号も題材とした身近な温暖化と防災のお話を熱心に聞いていました。またソーラーオルゴール工作ではメロディーの曲名を周りに尋ねたりしながら楽しく工作をし、持ち帰りました。



フードドライブから 温暖化対策



フードドライブとは、家庭での余剰食品を持ち寄り、フードバンクや福祉施設などに寄付することで、食べ物を必要としている人に届ける活動をいいます。相模原市では、SDGsに基づいた国の数値目標を踏まえ昨年10月から市役所及び橋本台、麻溝台の両りサイクルスクエアにおいてフードドライブの受付窓口を開設、食品の常時受け入れを開始しました。お預かりした食品は、毎月1回市内でフードバンクを運営する団体に提供し食品ロス削減に取り組んでいます。

日本での食品廃棄量は、1人毎日おにぎり1個半を捨てる量に匹敵。フードドライブによる循環型社会への転換を図ることは、食料資源の浪費や廃棄物の発生量を抑制し、更にその廃棄物処理に伴う環境



やってみよう

- 食品を買いすぎない
- 食材を使い切る
- 食事を食べ切る

残ってしまったら
フードドライブへ



負荷やコストも軽減、温室効果ガスの排出量削減につながります。もちろん食材の栽培・飼育から調理にいたる過程でも、電気など様々なエネルギーを使用するので、それらを廃棄することはそのエネルギーも無駄にしていることに。食品ロスについて関心をお寄せ頂いて、日々の食事をしてみませんか。

「太陽光発電の自立運転」を体験

太陽光発電を設置していると、停電時に自立運転に切り替えて電気製品が使えます(晴天時)。昨年秋に千葉県で台風被害による停電が続いた際の一般社団法人太陽光発電協会の調査※によると、太陽光発電を設置している方(蓄電池なし)の約80%が自立運転機能を有効に活用し、「日中に冷蔵庫・洗濯機・扇風機・テレビが使えた」「近隣の方へ携帯の充電等で貢献できたことが嬉しかった」などの声が寄せられたそうです。今注目されている「太陽光発電の自立運転」を当協議会会員が体験しました。

体験者：北村陽子さん(南区在住)

急な停電のときに自立運転の方法がわからなかった人が多かったとのことで、太陽光発電を設置しているわが家では

自立運転ができるか、天気の良い日に試してみました。

まず電気のブレーカーをすべて落としてからパワーコンディショナーのスイッチを自立運転に切り替え、コンセントに延長コードをつないで、3時間ほどかけて家電を一つずつ試してみました。スマホの充電はもちろん、洗濯機、掃除機、炊飯器、コタツ、電気毛布、扇風機を使用することができました。停電時にご飯が炊けたり、洗濯、脱水ができるのはとても助かると思います。

今回の自立運転実験は太陽エネルギーを直に感じる貴重な体験でした。わが家にはソーラークッカーもあり、太陽熱でお湯を沸かしたり料理を作ることできます。尽きることのない太陽の恵みは本当にありがたいと日々感じています。



※一般社団法人太陽光発電協会「災害時における太陽光発電の自立運転についての実態調査結果(台風15号)」
<http://www.jpea.gr.jp/topics/191017.html>

ラジオは停電でも使える防災メディア 『災害時アクセス情報』

FMさがみ情報



スマートフォン! パソコンで! ラジオが聴けます